

小規模多機能型居宅介護

# 令和3年度 「サービス評価」公表資料

たきのーほーむ



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 13 日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 井口。荊阿曾。関軒。坂井。ザン。濱田。中條

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	3 人	5 人	0 人	9 人

前回の改善計画	「言葉が足りなかった」「受け手の解釈が違った」等コミュニケーションが不十分である為、コミュニケーションスキルをあげる努力が必要。情報を共有しようとする認識不足がありチームワークから外れ、個人プレーで開始してしまう事があり、情報を共有しなければならぬ事を周知する必要がある。本人様・ご家族様との関わりを大切に、信頼関係の構築を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	関わりは皆さん上手にしていた 努力はしているが情報共有が不足の場面もある 個人プレーも有る

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	7	2	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	4	5	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	4	3	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4	2	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者一人ひとりに声掛けし、支援して欲しい事を聴くように心掛けている 情報用紙を読み確認している
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 朝のミーティング内容があまり共有できていない 必要としている支援
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 報。連。相を確実に 個人プレーを無くし、職員同士の声掛けを行っていく チームワークを大切にしながらチームで動く
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 13 日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 井口。苅阿曾。関軒。坂井。ザン。濱田。中條

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	2	0	9

**前回の改善計画**  
 利用者様が、「何がしたいか・思いは何か」を日々の関わりの中から、お聞きし職員間での情報の共有を行う。「～したい」が実現できる様行動する。スタッフ同士、意見を出し合えて言える関係づくりを行う。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 ほぼほぼ出来ていたが、新しく入ったスタッフや異動で変わったスタッフと共有することがややできていなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	4	3	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	5	1	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	2	5	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7	1	0	9

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ご本人の希望を聞き出来る限り。実践している  
 ご本人が話しやすい環境づくりや言葉を大切にしている。スタッフ同士の話し合いを行っている

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 個人個人の目標を把握出来ていない  
 ご本人の意向を聞いたとき、即他のスタッフとの共有ができていない  
 実践に繋がらないときがある

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
 自己主張が出来ない人との関わり強化  
 ～死体を言っていただけのような声掛けを行う

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 10 月 13 日
3. 日常生活の支援	メンバー	井口。荻阿曾。関軒。坂井。ザン。濱田。中條

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	2	0	9

前回の改善計画	以前の暮らしを10個以上言えるようになるために、その方を知る必要がある。体調の変化に関しては、通常の方の通常の状態を把握する。通常よりもどうかを見ていく。(血圧も低い人もいれば高めの方もいる。) スタッフ同士で情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	何とか出来ているが新規利用者の情報。体調の変化にもスタッフ間で情報を共有しなければならない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	4	3	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	5	1	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	2	5	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	6	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 変化に対する気づきを持つようにした。支援に対し報告や相談し共有出来ている ご本人の様子を細かく見ていくことができた
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の希望する時間に合わせた外出支援が出来ていない ご利用者様の思いが重なったり、優先順位のつけ方ができていないときがある
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご本人様を知ること 以前の暮らしを10個以上言える、むずかしく考えずに利用者の言葉をキャチする
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 3 年 10 月 13 日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	井口。苅阿曾。関軒。坂井。ザン。濱田。中條

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	0	2	6	1	9

前回の改善計画	利用者様の地域を知らない事が多く、スタッフ同士でどのようにして知って行くかを話し合っていく。地域の方にも協力をさせていただく時にも色々な事を知る必要がある。
前回の改善計画に対する取組み結果	まだまだ、ご本人様ばかりに目が行き、地域の事をスタッフ間で話すことが少なかった。地域を細かく探っていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	5	4	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	5	4	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	5	3	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	3	4	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 送迎時や訪問時にご家族とのコミュニケーションをとるようにしている 本人との会話の中で、どんな暮らしをしてきたか知る事が出来る
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 人間関係や地域との関わりを把握出来ていない 民生委員や地域の資源等把握出来ていない まだまだ地域のことを探る必要がある
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 情報の共有。記録を読み返す 地域のことを探る
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 13 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 井口。苅阿曾。関軒。坂井。ザン。濱田。中條

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	0	2	9

前回の改善計画  
資源マップや以前の暮らし、アセスメントでの馴染みの場所・馴染みの店・馴染みの人を多く知る必要がある。利用者様との関わりから本人の言葉を記録に残し、思いや気持ちを理解し、実践していく

前回の改善計画に対する取組み結果  
利用者様の言葉を記録に残せていない為、共有やなじみの場所・店・人が少ない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	1	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	5	0	1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	7	0	1	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	0	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
ニーズに合わせての利用方法は、できている。  
突発なことにも柔軟に対応できている  
地域のサロンや馴染みのお店等に出かけている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
記録やご本人からの言葉からの気づきをミーティング等での話し合いが中々できていない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
センター方式を作成し、地域の資源をもっと活用していく  
少しの時間でも話し合いの場を持つ  
柔軟な対応ができるようスタッフ間の声掛けを行っていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 13 日

6. 連携・協働

メンバー 井口。苅阿曾。関軒。坂井。ザン。濱田。中條

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	0	3	2	4	9

前回の改善計画	開所して2年ですが、地域の会合や、自治体・包括支援センターとの会議には、管理者が参加しているが今後、他のスタッフも同席していけるようにしていく。会議の内容や、どのような会議があるのかを知っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	中々管理者以外の参加が難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	2	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	2	6	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	3	4	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	1	2	2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
勉強会に参加している ヤギや駄菓子。ドックランでの交流が有る 消防訓練には、参加している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議には参加していない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
できる限り、スタッフに会議には出席できるよう考えていく その会議に合ったスタッフが出席する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 13 日

7. 運営

メンバー 井口。苅阿曾。関軒。坂井。ザン。濱田。中條

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	5	2	2	9

前回の改善計画	地域の中に溶け込んでいける様、取り組みを行う。地域の中に私たちから溶けこける工夫をしていく必要があります。待つばかりではなく地域に向き地域を知ること。具体的には、地域の方々に意見を聞くご意見箱を駄菓子屋に設置する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご意見箱の作成には至りませんでした。地域の方への挨拶は出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	3	4	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	0	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	0	2	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	5	2	2	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご本人。ご家族から意見や苦情がごくまれに有った場合はスタッフで共有する事が出来ている スタッフ間で共有することが出来ている
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方と話す機会がなく協働した取り組みが出来ていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 公民館で開催されている行事に参加する お送りするだけではなく。他の方との会話をし、地域の情報を得る
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 3 年 10 月 13 日
8. 質を向上するための取組み	メンバー 井口。菊阿曾。関軒。坂井。ザン。濱田。中條

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	4	2	9

前回の改善計画	研修の充実と参加し実践していく。リスクマネジメントの勉強会を通して、ヒヤリハットの重要性を学ぶ。スタッフそれぞれが、リスクマネジメントの考え方ができるよう、朝礼・夕礼の時に話し合いを持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	個人個人ではリスクマネジメントに対しての考え方は出来ている ヒヤリハットの重要性はまだまだでした

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	3	3	3	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	1	5	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	2	6	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	2	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 人権や個人情報に関しては守られている 地域連絡会には管理者が参加している
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍の中外部集合研修には中々参加できていない ZOOM を利用した研修の参加が多かった
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) リスクマネジメントの勉強会を聞いて欲しい ヒヤリハットをもっともっとあげよう“大丈夫だよ”と言うスタッフの認識ラインを一緒にする
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 13 日

9. 人権・プライバシー

メンバー 井口。荻阿曾。関軒。坂井。ザン。濱田。中條

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5	4	0	0	9

前回の改善計画
個人情報のバインダーは、見たら鍵のかかる棚に戻す。3つのロック・ドラッグロック・フィジカルロック・スピーチロック。もっとも行ってしまうのは、スピーチロック、その方の行動を妨げる声掛けには言わないよう気を付けていく。「ちょっと待って・・・」等、今いけない理由を話し、納得していただく。
前回の改善計画に対する取組み結果
プライバシーに関しては排泄時の声掛けは大声で言っていた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	2	0	0	9
②	虐待は行われていない	8	1	0	0	9
③	プライバシーが守られている	6	3	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	2	4	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	3	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束。虐待は行われていない。研修や勉強会で周知している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度を利用している方はいない 勉強会や制度の理解が必要	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者の訴えにすぐに対応できない場合は理由を説明し理解して頂き後に対応する事 バインダー（記録物）はテーブルの上に置きっぱなしにしない 声掛け時（特にトイレ。お風呂）には配慮する	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人弘和会	代表者	理事長 畝 和弘	法人・事業 所の特徴	<p>1.地域に愛される事業所になれるよう地域のイベントに積極的に参加しています。</p> <p>2.介護が必要な方が安心して利用できる様オーダーメイドの介護を提供しています。</p> <p>3.認知症と言う病気の理解を深める為、外部の研修に参加し、内部では勉強会をしています。</p> <p>4.認知症キャラバンメイトの資格を持った職員は積極的に地域や協力機関に出向き認知症のケアについての研修の講師をさせていただきます。また、まちの認知症相談委員として地域の相談窓口になっています。地域での困りごと地域と一緒に考え、協力しています。</p> <p>5.認知症を患っても、支えられる側ではなく地域の中で役割を持って活き活きできる時間を大切にします。</p>
事業所名	たきの一ほ一む 風和里	管理者	森川 みなこ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	5人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	1年を通して9項目が「できている」になるよう実践を行い小規模多機能らしさを実現するために行動していきます。	9項目に関して「できている」になるよう実践を行ってきましたが、まだまだ小規模らしさがお伝えできていない。	利用者の方も増え、「風和里」が地域に根ざしてきたことがうかがえます。	事例検討会や認知症相談を行い、関係等をしっかりとって、情報の共有を図っていく。
B. 事業所のしづらえ・環境	ご家族や地域の方が気軽に来ただけの工夫や、居心地の良さの環境づくりをスタッフと考えていく。	コロナ禍の中で、面会制限や駄菓子屋も休業といった状態がありました。居心地の良さに関しては、過ごす場所をその方自身に決めていただくことや音にも気を付け、臭いもこまめに掃除を行いました。	高齢者事業所のイメージが入ってはいけなと、思うところがあるので、イメージを変えていく工夫が必要ではないか。駄菓子屋を利用して、駄菓子屋に珍しいものを置くなどしてはどうか。	毎月の通信で、イメージを来てもよいことをPRし、「お越しください」や、言葉を添えてみる。駄菓子屋に置く商品も検討する。来られた方に、聞いてみる。
C. 事業所と地域のかかわり	できる限り地域に出向いていけるよう感染対策を行っていく。	今年度もコロナ禍の中、行事は、中止の事が多く、参加できることは出向いていきました。なぎさ市に声をかけていただき、駄菓子屋が参加しています。	相談事など、毎月回覧して頂いている通信に、「相談事はないですか」と記入してみてもどうか。また、相談場所とわかるような仕組み作りが大切です。	通信には、まちの認知症相談員としてありますが、もう少し具体的に書く。相談場所とわかるような仕組みづくりをメンバーの方々と一緒に相談させていただく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	小規模の実践事例を通して理解していただく。コロナ禍でも、密を避け感染対策を行いながら、本人様を地域で支えていく。	コロナ禍で、ご自宅に訪問することが増え、自宅での生活がよりわかりました。地域での繋がりもわかってきています。	本人の暮らしを支えるためには、スタッフで話し合いを行い、もっともっと情報の共有に努めてほしい。	スタッフ同士の情報の共有の仕方、話し合いの場を作る。地域の方も交えての話し合いを行っていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	民生委員の方々が集まる会議に説明等させていただく。運営推進会議で意見をいただく。	民生委員の方々の会議には、今年度は参加できていません。運営推進会議での意見は、完全ではありませんが行ってきています。	民生委員や町会の会議にも参加して「風和里」をもっと知ってもらい、要望等を把握するとより地域での事情が把握できるのではないか。千里浜地区役員会の始まる前にでも、話をしてください。	地域の事情を知るため、地域の会議に参加させていただく。運営推進会議に管理者だけではなく、他のスタッフも参加していく。(事例報告や困難事例等)
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画を運営推進会議でお伝えし、理解を得る。また、地域での相談にも応じていく。	事業所の防災訓練には、参加の声掛けを運営推進会議でさせていただいています。実際に参加して頂いている。地域の防災訓練には参加していない。	地域での防災訓練等、環境安全課に聞いてみてはどうか。各町会での訓練。	環境安全課に情報を確認する。風和里は、2次避難所になっていることをお知らせする。地域での防災訓練に参加させていただく。災害時の実践的な訓練を行っていく。